

「デートDV予防啓発冊子」リニューアルに向けてのアンケート調査結果について

1. アンケート調査期間等

期 間: 令和4年12月20日(火)～令和5年1月20日(金)

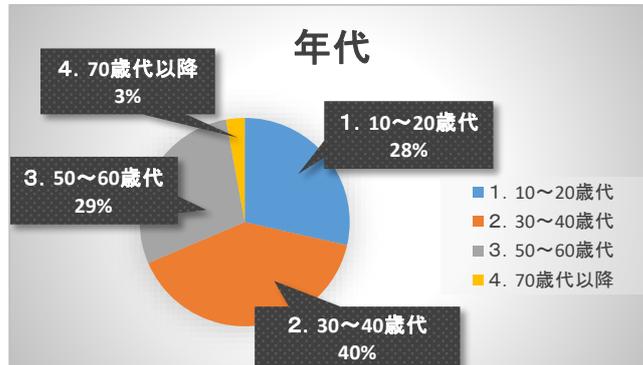
対象者: 市内在住、在勤、在学の18歳以上の方

2. アンケート調査結果

回答人数: 35人

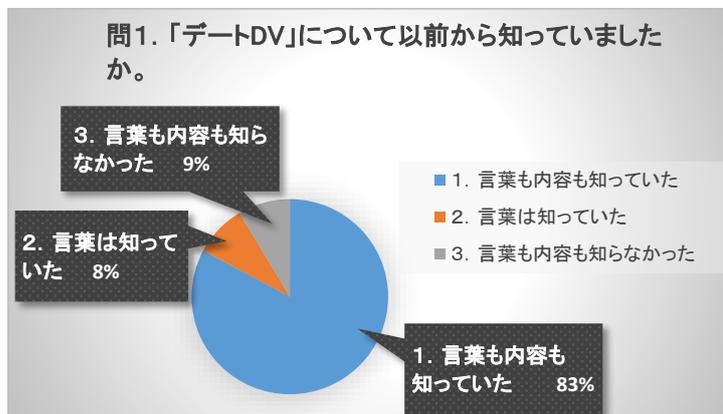
年代	人数
1. 10～20歳代	10
2. 30～40歳代	14
3. 50～60歳代	10
4. 70歳代以降	1

所属	人数
1. 教育関係者	35
2. 子育て支援団体等	0
3. その他	0



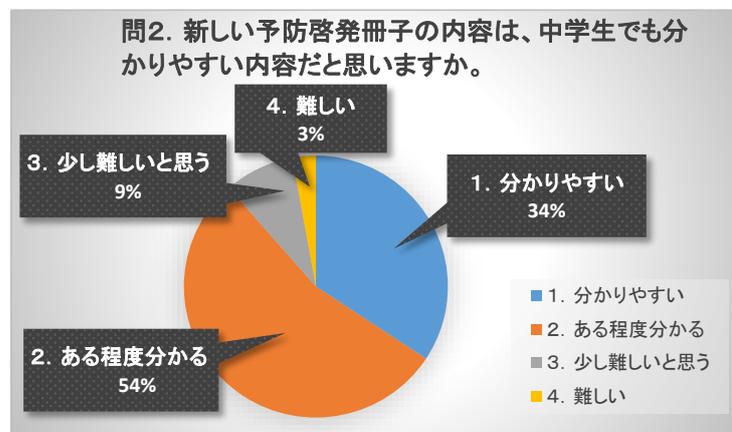
問1. 「デートDV」について、以前から知っていましたか。

	人数
1. 言葉も内容も知っていた	29
2. 言葉は知っていた	3
3. 言葉も内容も知らなかった	3



問2. 新しい予防啓発冊子の内容は、中学生でも分かりやすい内容だと思いますか。

	人数
1. 分かりやすい	12
2. ある程度分かる	19
3. 少し難しいと思う	3
4. 難しい	1



問3. どのあたりが「分かりやすい」と思いましたか。

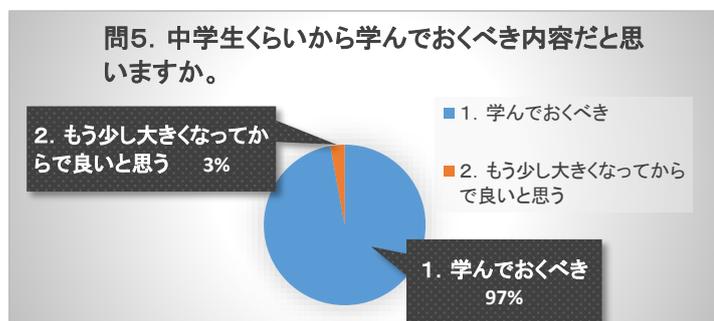
P2のチェックリスト で自分の現在を分析できる。
やさしい言葉で書かれてる。
何がデートDVにあたるのかという事から、被害者、相談を受ける者等あらゆる立場における対応方法を簡潔にまとめたところ。
イラスト等でわかりやすく説明が書かれているため。
言い回しがわかりやすい。
子どもが気になる事柄を質問形式で表記し、回答してくれているから。
デートDVとは何か。
具体的なDVの内容が示されている。
図などで説明しているところが視覚的にわかりやすい。
内容が端的なため。
具体例が記載されているから。
項目立てたり箇条書きにしたりすることで、どのような種類があって、どのようなことがDVに当たるのか分かりやすく示されている。
具体例が詳細にあるから。
具体的に説明されていた点。
みていないので、そこまで答えられない。
文章が簡潔に書かれており、文章の量も少なめで読みやすかった。
事例が丁寧に書かれている。
イラストがあって分かりやすい。
どんな場合がデートDVにあたるのか、まとめてある。
文章に応じたイラストがあり、見た目でも内容がくみ取れるようになっている。

問4. どのあたりが「難しい」と思いましたか。

よくまとまっていると思ったが、文章が多いので最後まで読まない人もいるかもしれない。
発達には個人差が大きく、中学生あたりなら、冊子が必要で役に立つ生徒も一部いるが、まったく自分に関係ないと思ってしまう生徒が多数であるように思える内容でした。
中学校で教えるべきことでない。

問5. 中学生くらいから学んでおくべき内容だと思いませんか。

	人数
1. 学んでおくべき	34
2. もう少し大きくなってからが良いと思う	1



問6. その他意見等

3ページめの『「あなたがなんとかしなくっちゃ!」と思わなくても大丈夫。』は、『あなたが「なんとかしなくっちゃ!」と思わなくても大丈夫。』ではないですか? また、暴力のサイクルは、ラブラブ期から始めた方が、時系列になるのでイメージしやすいと思う。
DVを予防するには、支配欲求がコントロールできないといけないので、交際相手だけでなく、友人関係においてもそれぞれの境界線を守り、対等な関係作りを示すことが大事。自分の気持ちを大事にして、違和感を感じたら、離れる、相談することも強調して、教えています。
最近は低年齢化で、小学生でもありえると聞いています。もっと幼いうちから、啓発するとよいと思います。
中学校で教えるべきことでない。
小学校の高学年でもお付き合いする子どもがいるため、小学校5・6年生あたりで1回配布してもらえるとよいと思いました。中学生になってからお付き合いをする生徒もいるので、1年生で付き合うことや、1年生では関係なくて2・3年生でつきあうこもいるので、中学校だと1年に1回配布だとよいかと思います。予算の都合もあると思いますが。